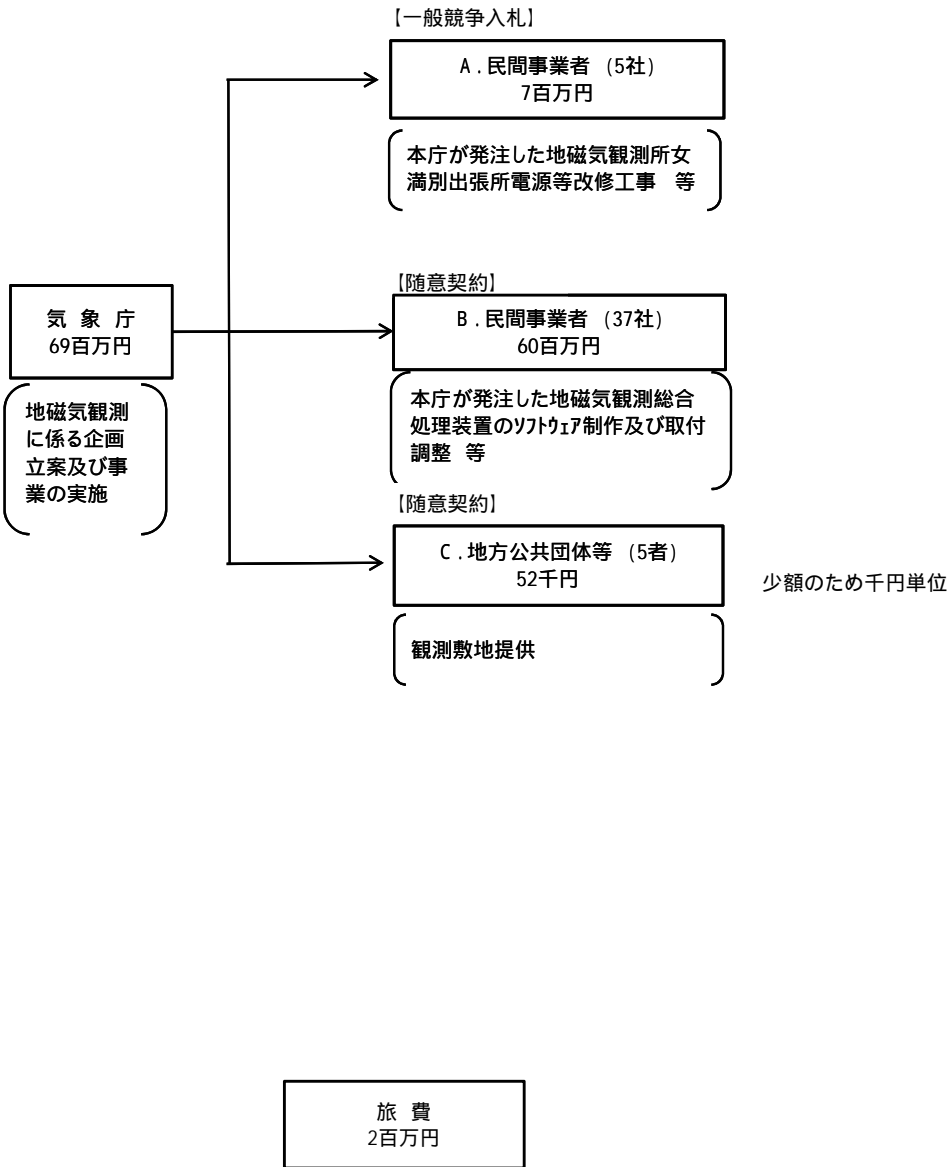


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	地磁気観測		担当部局	気象庁観測部		作成責任者	課長 赤枝 健治	
事業開始・終了(予定)年度	昭和31年度～		担当課室	計画課				
会計区分	一般会計		施策名	10 自然災害による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	気象業務法(第3条、第4条 他) 活動火山対策特別措置法(第19条)		関係する計画、通知等	INTERMAGNET計画(国際地球電磁気学・超高層物理学協会、平成4年度より参画) 地震及び火山噴火予知のための観測研究計画の推進について(建議)(平成20年文科省科学技術・学術審議会)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地球内部及び地球から太陽に至るまでの空間の電磁気的状態とその活動の監視を行い、無線通信障害の警報や国土の測量等のための基礎資料を提供するほか、地磁気変化により火山噴火を予知するための研究観測を行い、災害の予防、交通の安全確保等の公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地磁気観測所(茨城県石岡市)、女満別観測施設(北海道大空町)、鹿屋観測施設(鹿児島県鹿屋市)を中心として、人工的なノイズの少ない環境の中に磁力計を設置し、太陽起源、地球内部起源の磁場・電場変動を常時観測している。得られたデータは地磁気観測所において解析し火山活動の評価に係る研究を行うと共に、国内では独立行政法人情報通信研究機構に通報して宇宙天気予報に利用される他、世界各国に通報している。							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	35	35	69	37	31	
		補正予算	0	373	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	35	408	69	37	31	
	執行額	35	327	69				
執行率(%)	100%	80%	100%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	噴火警戒レベル導入火山数を26から29とする。未導入18火山について中期計画を策定する。(単年度目標)		成果実績	箇所	25	26	29	-
			達成度	%	-	-	100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	地磁気絶対観測地点数		活動実績(当初見込み)	力所	6	6	6	(6)(6)
	地電流観測地点数		活動実績(当初見込み)	力所	3	3	3	(3)(3)
	地磁気観測時間		活動実績(当初見込み)	時間	26,280	26,280	26,280	26,280
単位当たりコスト	2.6(千円/地磁気観測時間)		算出根拠	H22執行額/H22活動実績				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	4	4	・地磁気観測総合処理装置更新に係る調達方法の改善による借料の減 4百万円 ・全磁力観測装置の更新に伴う借料の減 1百万円				
	観測予報庁費	32	27					
	土地建物借料	0.4	0.4					
	計	37	31					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・地磁気観測は、地球環境を構成する地球磁場の変動監視等を目的とする国際観測網の中核として重要な役割を担っている。その成果は火山噴火の予知、磁気図の作成、無線通信障害警報のための基盤情報として、また、人工衛星の安全運用のための必須情報として広く利用されている。さらに、我が国の地磁気観測は、各国が連携して地球規模のネットワークの一翼を担っている。</p> <p>・今後とも着実かつ適切に業務を遂行するとともに、調達の一層の競争性の確保など、効率的、効果的な予算執行に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		引き続き、適切に業務を遂行するとともに、調達方法の最適化を図りコスト削減に努める。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
地磁気観測総合処理装置更新にあたりライフサイクルコストを考慮した複数年契約の実施によりコスト削減を図った。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



A.(株)電建			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	地磁気観測所女満別出張所電源等 改修工事	4			
計		4	計		0
B.三菱スペース・ソフトウェア(株)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物品購入費	地磁気観測総合処理のソフトウェア製 作及び取付調整	4			
雑役務費	地磁気観測総合処理のソフトウェア製 作及び取付調整	34			
計		38	計		0
C.個人A			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料及び損料	地磁気観測所鹿屋出張所構外比較 観測点敷地借料	0.028			
計		0.028	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)電建	地磁気観測所女満別出張所電源等改修工事	4	2	95.69
2	(株)サンエイチ	中量棚他の購入	2	8	97.4
3	(株)マルミヤ	電子計算機他の購入	0.715	8	98.8
4	(株)セイワビジネスサプライズ	USBメモリー他購入	0.151	7	99.7
5	(株)第一文眞堂	フラットファイル他の購入	0.005	9	99.7
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱スペース・ソフトウェア(株)	地磁気観測所総合処理のソフトウェア制作及び取付調整他	38	随意契約	
2	(株)河西組	地磁気観測所女満別出張所不用施設等解体撤去工事	2	随意契約	
3	曾秀建設(株)	地磁気観測所鹿屋出張所観測施設車庫等解体工事	2	随意契約	
4	(株)坂元電気工事	地磁気観測所鹿屋出張所電気設備改修工事	2	随意契約	
5	国際電子工業(株)	磁気儀磁力計本体部の修理他	1	随意契約	
6	(有)テラテクニカ	地電流観測装置他の修理他	1	随意契約	
7	(株)イセブ	地磁気観測所テクニカルレポートの印刷	0.945	随意契約	
8	(株)オフィスマネジメントシステム	観測課OAフロア工事	0.914	随意契約	
9	村上設備	事務室便所追加改修工事	0.654	随意契約	
10	(株)清和設計事務所	電源等改修工事及び不用施設等解体・撤去工事設計業務	0.567	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	地磁気観測所鹿屋出張所構外比較観測点敷地借料	0.028	随意契約	
2	個人B	阿蘇山地磁気変化観測施設敷地借料	0.010	随意契約	
3	個人C	いわき地震予知観測施設敷地借料	0.008	随意契約	
4	北海道森林管理局	地磁気観測所女満別出張所構外比較観測点敷地借料	0.003	随意契約	
5	阿蘇市会計管理者	阿蘇山地磁気変化観測施設敷地借料	0.002	随意契約	
6					
7					
8					
9					
10					